

2011年

消費者大会は、年1回開催され、県民の皆さんの学習・交流の場です。どなたでも参加できます。

岩手県消費者大会

大震災を越えて創ろう岩手の未来

10月28日(金) 10:30~15:00

参加無料

サンビル7階

〔※お弁当を用意します(¥500)。個人参加の場合は予約が必要です。団体からの参加は事前に取りとめます。〕

◆午前：全体会 10:30~12:30

1. 全体会基調講演

京都大学
大学院教授

おか だ とも ひろ
岡田 知弘 先生

「大震災と原発事故で見えてきた 社会のひずみと復興への道」

～生活再建を中心に地域経済・社会の再生を!～

大震災の復旧・復興はまだ緒についたばかり、瓦礫の撤去さえもすすんでいません。私たちは生活再建を優先し、生業再開を第一にと要請を重ねてきましたが、進みません。

それに加えて、安全神話の中で起きた原発事故によって、住めない地域と汚染生産物を生み出しました。岡田先生になぜ原発事故がおき、今後どう考えればいいのか話していただきます。また、政府の復興会議では「開かれた復興」をめざすとして、協同で築いてきた漁業・農業を復興特区によって大手企業の参入を認めました。さらに震災を契機にTPPもすすめようとしています。岡田先生は、今までの構造改革こそが、地域経済や社会を崩壊させ、災害に弱い国土構造や地域を作り上げてしまった事実を見て、今回の大震災で命を失った多数の犠牲者の為にも、一人ひとりの住民の命と暮らしが最優先される国を、住民の生活領域である地域から再構築していくことが大事だと訴えます。そんな岡田先生の講演を聴いて、考えあい行動しましょう。



《岡田知弘先生のプロフィール》

■1954年富山県生まれ。
京都大学大学院経済学研究科卒。
京都大学経済学部教授。
日本地域経済学会理事長。
自治体問題研究所理事長。
専門は地域経済論。

《主な著書》

「一人ひとりが輝く地域再生」(新日本出版)
「増補版 道州制で日本の未来はひらけるか」
(自治体研究社)
「TPP反対の大義」(共著 農文協)
「TPPで暮らしと地域経済はどうなる」
(共著 自治体研究社)
ほか多数

2. 決議提案

◆午後：分科会 13:10~15:00 4つの分科会から興味があるところへご参加ください。

1	食料・農業問題を考える	「岩手の農水産物を食べ続けたい!～復興に逆行するTPP参加」
2	環境・エネルギー問題を考える	「21世紀の課題 食料・環境・エネルギー～脱原発と再生エネルギーの可能性～」
3	社会保障問題を考える	「震災を乗り越え、憲法13条の幸福追求、をめざし～私たちが願う安心の医療・介護を考える」
4	平和問題を考える	「次世代を担う子どもたちに平和な未来を手渡すために」

保育もあります(事前に申し込んでください。200円です。)

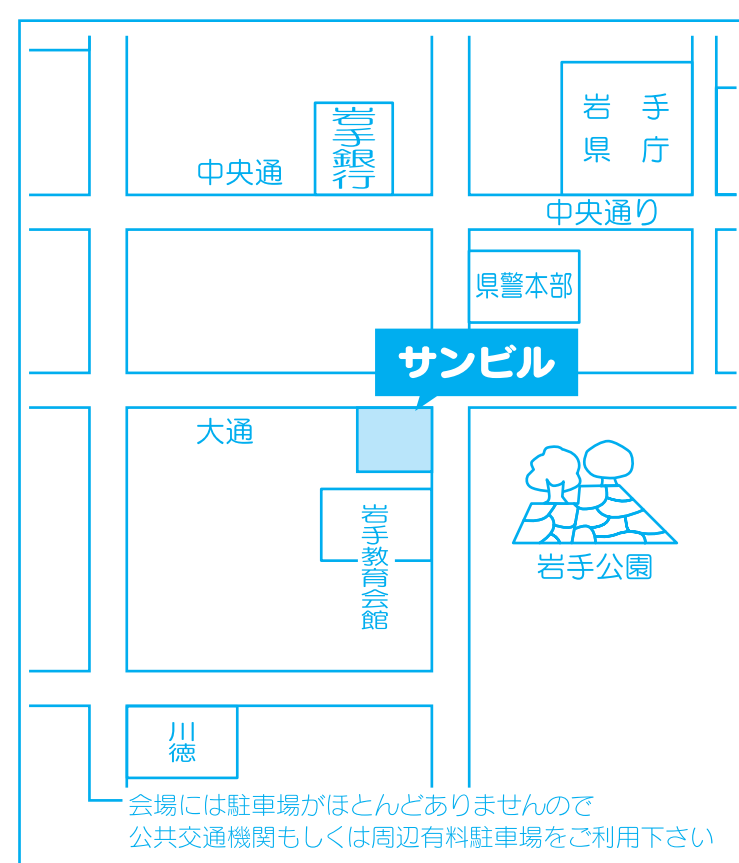
主催 岩手県消費者大会実行委員会

岩手県滝沢村土沢220-3
岩手県消費者団体連絡協議会内

参加申し込みは

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227



分科会紹介 13:10 ～ 15:00

会場：サンビル7階

「暮らしの問題～あなたならどうしますか？」関心のあるところに出て考え合いましょう！

第1分科会

◆食料・農業問題

～企画運営団体～

- ・いわて生協
- ・JA女性組織協議会
- ・岩手県生協連

会場 7階 6・7号会議室

「岩手の農水産物を食べ続けたい！ ～復興に逆行するTPP参加」

原発事故による食品の放射能汚染が心配される中、スーパーでは一部食品の出荷停止を受け、輸入食品が多く出回っています。これに便乗し、政府はTPP（環太平洋経済連携協定）への参加で関税をなくし、安い農水産物をさらに輸入しようとしています。世界的な食料不足で約10億人が飢餓に苦しんでいるにも関わらず、先進国が率先して食料を奪っていいのでしょうか。TPPへの参加は、復興に向けて頑張っている県内の農林水産業にも大打撃となります。被災地の食料事情からまずは問題点を明らかにし、これから何ができるか考えあいましょう。

◇基調報告 堂前 貢さん（全国農民連副会長）

◇意見交流

第2分科会

◆環境・エネルギー問題

～企画運営団体～

- ・岩手県生活問題研究会
- ・i女性会議岩手県本部
- ・新日本婦人の会岩手県本部
- ・岩手県学校生協

会場 7階 ホール

「21世紀の課題 食料・環境・エネルギー」 ～脱原発と再生エネルギーの可能性～

福島第一原発の事故により、放射能汚染とエネルギー不足は国民の重大関心事になっています。脱原発に向かうためにも、太陽光・風力・地熱など再生可能エネルギーについて理解を深め、循環型社会への取り組みについて学びたいと思います。私たちはどのような“地域”や“地球”を次の世代に引き継ぎたいのかをみんなで考えましょう。

◇基調報告 中村哲雄さん（元葛巻町長）

◇意見交流

第3分科会

◆社会保障問題

～企画運営団体～

- ・盛岡医療生協
- ・岩手県労済生協
- ・岩手県母親大会連絡会
- ・消費者信用生協

会場 7階 5号会議室

「震災を乗り越え、憲法13条の“幸福追求”をめざし ～私たちが願う安心の医療・介護を考える」

今、国民健康保険の負担増が問題になっています。「食えば払えず、払えば食えず」の状態が広がっています。その実態を社保協の村上事務局長に問題提起してもらい、みんなで意見交流します。一方、介護保険は6月に改定案が强行され、来年2～3月ごろから、2割に及ぶ「要介護1・2」が介護保険から外される可能性があります。安心できる介護を求め考えあいましょう。

◇問題提起① 「国保の実態から安心できる医療の仕組みを考える」
村上和雄さん（岩手県社会保障推進協議会 事務局長）

◇問題提起② 「6月の改定でどうなる介護保険」
佐々木穂波さん（地域包括センター川久保 社会福祉士）

◇意見交流

第4分科会

◆平和問題

～企画運営団体～

- ・岩手県退職女性教職員の会
- ・岩手県母と女性教職員の会

会場 7階 3号会議室

「次世代を担う子どもたちに 平和な未来を手渡すために」

福島第一原発事故による放射能汚染は、東日本全体に深刻な影響を及ぼしています。放射能は平和で安心して暮らせる「ふるさと」を奪い「生存権」をも奪うものです。県内の汚染の実態を知り、ヒロシマ・ナガサキのヒバクシャの歩みを振り返りながら、子どもたちに平和な未来を手渡すために必要なことは何かを考えあいましょう。

◇ミニ講演 佐々木徹先生（岩教組・岩手支部書記長）

◇意見交流